

【プログラム7:見えるものしりとり~しっかり見て~】

☆ねらい：見えるものしりとりを通して、日頃見慣れていること（ひと・もの・場所）でも、じっくり見ようとすることで、見えていなかったものがあることに気付く。

キーワードの例	しっかり見る
時 間	5分
人 数	何人でもできる。
活動形態	全体（グループごとでもできる）
準備物	なし
主な活動	①やりかたを聞き、やってみる。 ②振り返りを行う。
気を付けること	○視野を広げて考えることが大事であることを伝える。
方 法	<p>1 見えるものしり通りの説明をする。 〈やり方〉 自分の見える範囲のもので、しりとりゲームをする。</p> <p>2 - A 全員で行う場合 ①進行役が一つことばを言う。 ②参加者が続きを考え、答えてもらう。 ③進行役が続きのことばを言う。 ④参加者はさらに続きを考える。</p> <p>2 - B 2人組で行う場合 ①どちらから先に始めるかを決める。 ②上記と同じやり方で、しりとりゲームをする。</p> <p>3 振り返りを行う。 4 まとめを聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>日頃見慣れているものや場所、いつも一緒にいる人でも、じっくり見たり、角度を変えて見たりすることで、今まで気づかなかったことに気付くことがある。 考え方も同じで、一つの方向からだけの考え方ではなく、発想の転換をしたり逆転の発想を用いたりすることで、人（子ども）の気になる部分（短所の部分）がその人の特長として感じることへとつながることもある。</p> </div>
備 考 (アレンジ等)	○2人対2人や3人対3人のグループで行う方法もある。(いろいろなものを見つけにくいような会場であれば、グループ戦を行ったほうが、しりとりゲームが続く、協力性が育まれる等の効果も期待できる。)
他プログラムとの関連	ステップ（中高生期）編：No4かきなったら、パン！～心をあわせて～